



## 1 明南小職員研修『明科南認定こども園で保育参加』 7月27日（月）



昨年度に引き続き、明南小職員は、明科南認定こども園にて保育参加研修を行いました。2歳児・年少・年中・年長のクラスに分かれて保育に参加しました。体験を通して、園の先生方の園児への関わり方・支援の仕方を学び、園小接続について意識し、2学期以降の小学校での児童支援に活かすことが目的です。

園の先生方は、園児の自由な発想を大切にし、そこで表現される物事そのままを受け入れ、一緒に微笑み、褒めてくれます。この姿は、保育に参加した小学校の先生方も同様でした。保育参加後の園の先生方との懇談で「子どもたち一人一人に“やりたい”がある。どうやってやりたいことを引き出すか。どう小学校につなげるか。」という思いが出されました。低学年の生活科や日常の学校生活の在り方を考える上で、保育参加は貴重な研修の場になっています。



## 2 明科中 総合『プロジェクト型全校縦割り探究に向けて』 7月23日(木)

明科中では、地域に根ざした探究的な学びの推進に向けて、2学期から『プロジェクト型全校縦割り探究』が開始されます。6月には、3年生が先行し、ワークショップ・フィールドワークを通して、探究について学ぶ時間を設けました。そして、10ある追究グループごとに「あるべき姿のキャッチコピー」(下記)を決めました。

A:自然を残したあそび場をつくろう

B:安心・安全で住みやすい町

C:明科バズらせ隊

D:買い物がしやすく、小さい子とお母さんがHappyな町をmakeしよう！！

E:一石二鳥～店が増えれば、人も増える～

F:古民家を活用した子どもの遊び場を作る！

G:大人も子どももenjoy interaction！

H:歴史×景色＝一石二鳥な明科の旅

I:交通手段をさらなる高みへ！！

J:古民家(空き家)のレトロさを活用して ☆人気再来★

23日(木)は、全校生徒が一堂に会し、探究講座ごと3年生から1・2年生へのプレゼンが行われました。1・2年生は、3年生の発表後、自分が参加したい希望講座を選択します。下記は、Aグループのプレゼンの主たる部分を簡略化して記したものです。

Q:この班のキャッチコピーは？ A:自然を残した遊び場を作ろう！！

Q:具体的にこの班の目指すゴールは？ A:アスレチックなどの小学生と自然を楽しめる遊び場を作る  
例:明北小の近くにあるかんだち山にアスレチックを作る、小学生と一緒に遊び場を作る

### TASK 1 調べる・見る・聞く

#### think

- ・自然のなかで遊べるところを考える
- ・どこを活用するのか考える

#### search

- ・アスレチックが設置可能な場所を調べる
- ・今実際にやっているアクティビティを調べる

#### hearing

- ・明科特有の優れている自然を聞く
- ・小学生に放課後や休日にどこで遊んでいるかを聞く

### TASK 2 伝える・試す・体験する・提案する

#### find

- ・アスレチックを製作できそうな山をみつけにいく
- ・広いスペースがある場所を探す

#### join

- ・似たような活動をしている団体に少し参加させてもらう
- ・実際にプロジェクトをやっている大人に提案する

#### make

- ・アスレチック製作
- ・実際にアクティビティを体験させてもらう

### TASK 3 地図・資料にまとめる

#### make

- ・いろんな言語でかいてある地図を作る
- ・行き方の地図をつくる

#### make

- ・PR動画を作る
- ・小学校からの行き方の動画を作る



本年度からの試みである『プロジェクト型全校縦割り探究』です。1年生ならば、3年間の追究も可能になりそうです。探究的な学びがどの様に展開されるか楽しみです。